

# 佐々町立佐々中学校 学校だより(HP)

## 「恒風」

第1号 令和4年4月8日(金) 文責 校長 井上博之

### ○ ごあいさつ

今年度、本校2年目を迎えました、校長の井上博之です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

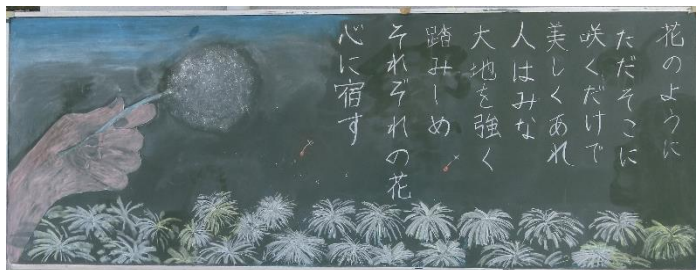
今年度の学校だよりは「恒風」と名付けま

した。令和3年度は「ときめき」でした。1年間、生徒の様子、地域の様子等を見て、このネーミングを考えました。

ある校長先生が、「私たち教職員は、地域という“大地”にとっては、“風”みたいなもの。どこからか来て、そして去っていく。でも、その土地に何かしら良い影響を与えて、子どもたちという“種”を素晴らしい花や樹にしていってお手伝いができる。」というお話をされました。いい例えだと思います。さらに、私の中では、保護者や地域の方が、太陽や水や養分となり、種が大地にしっかりと根付くように大切に守り育てているようなイメージが自然に思い描かれました。

「風」の種類は日本語では150以上あるようで、“恒風”とは、「常に同じ方向に吹く風」という意味があります。わたしたち職員は、「子供たちの成長と自立と幸せの実現に役立つための方向」に常に吹く風でありたいと願い、“恒風”としました。これから一年間、学校教育のねらいや生徒の実際の活動の様子などをお伝えしていこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

また、学校ホームページのブログ等でも紹介していこうと思いますので、是非ご覧ください。



### ○ 本校の校訓と学校教育目標

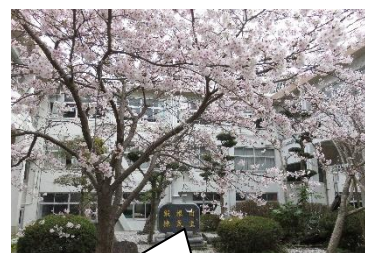
本校の校訓は、「**自主 根気 鍛錬**」です。中庭の石碑と、正門から見て生徒玄関の上の校舎壁面にあります。

そして、令和4年度の学校教育目標を

**「人との関わりの中で、より良く生きるために、粘り強く主体的に行動できる生徒の育成」**

としました。この学校教育目標を達成するための、めざす生徒像として、次の3つを挙げています。

- ① 差別や偏見を許さず、常に公平・公正な判断と態度を意識して行動ができる
- ② 思いやりをもち、互助の精神、人との交流や協働の大切さと喜びを実感できる
- ③ 夢や目標をもち、より良く生きるために主体的に学び、根気強く考え、行動できる



また、令和 3 年度の校内研修の中で、本校の課題を全職員で共有し、生徒に何が必要か？どんな力を身につけさせたいか？などについて協議してきました。

そこで、今年度は、学校の大きな 2 つの柱として、年間を通した「人権教育」の充実と「ピア・サポートプログラム」の実践を行うこととしました。

昨年度の校内外での生徒指導事案、いじめ、生徒間のトラブル、ネットの問題等の要因の 1 つに、生徒同士の偏見や差別意識、人権意識の課題が見られました。また、友達との接し方や関わり方、コミュニケーションの在り方にも基本的な知識や経験が不足している状況が見られました。一方、各調査アンケート等の結果を見ると、生徒の特徴として、「人の役に立ちたいと思う」「困っている人がいたら進んで助ける」などの意識が高く、本来は優しさや思いやりを持った生徒が多くいることも分かりました。

そこで、本校の強みを生かし、課題の解決に向けて、「人を支援し、人の役に立つことで自己有用感、自己効力感を高め、自分たちの課題を自分たちで解決できる資質能力を涵養する」ピア・サポートプログラムを導入したいと考えました。

また、それと同時に、子どもたちの心を耕すためには人権意識の向上が必要不可欠であり、教師も含めて、まず、私たちの人権意識を見つめなおすところから、じっくりと進めていきたいと考えています。具体的な取組みについても随時学校だよりでお知らせいたします。

## ○ 今年度の職員の紹介 全校生徒 407 人、教職員とスタッフ 44 人でスタートします。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

(※ HP 用ではお名前と役職、担当等は掲載しておりません。学校だよりをご覧ください)